



森林研究所内で

世界のあしたが見えるまち。

国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所
森林管理研究領域 環境計画研究室 主任研究員

Emi Morita 森田 えみ さん

愛知県生まれ。奈良女子大学理学部卒業後、三菱重工でエンジニアとして勤務。東京大学大学院で森林科学を専攻後、京都大学大学院で社会健康医学を専攻し博士号(社会健康医学)取得。在学中、ミュンヘン大学医学部留学。名古屋大学大学院医学系研究科特任助教を経て森林総合研究所に着任し、現在は筑波大学国際統合睡眠医学研究機構准教授を併任。

つくばで輝く
女性研究者

これまで森林浴の長期的な健康への効果の研究を行ってきた森田さんは、今年から筑波大学国際統合睡眠医学研究機構でも森林浴の睡眠への効果についても研究を進

《農学と医学の融合》
森林による健康づくりをテーマに農学と医学の両面から森林浴の研究を行う。健康に良いと言われる森林浴だが、その効果は科学的にまだ解明されていないことが多く、また、森林浴の研究は森林科学の分野で行われていることが多く、医学的なアプローチによる研究は世界的にも少なかった。そんな中、

森林浴効果を医学的に探究



5匹の愛猫

で森林科学、京都



山中湖村での調査

《森林浴を探究》
陶器の生産地で有名な瀬戸市で生まれ、里山が多い環境で育った。大学も山に囲まれた奈良県に進学し、物理学を学び卒業後はエンジニアとして3年勤務。結婚退社後に名古屋で7年間の専業主婦を経験した。緑が少なく、自然環境の必要性を実感。森林浴に関心が向かいました。森林浴を探究するため一念発起して東京

で社会健康医学を学んだ。「森林浴の健康効果について研究している大学がほとんどなく、東京と京都で2つの異なる分野からアプローチして学際的な研究をすることになりました」。大学院在中にヘルスリゾートの先進国ドイツのミュンヘン大学医学部に留学したが、当時のドイツでは自分のイメージする森林浴は行われていなかった。大学院修了後に勤務した名古屋大学大学院では、がんのゲノム疫学研究をしながら森林浴の健康効果の研究もするなど、貫いて森林浴のサイエンスを追求してきた。「紆余曲折しながらも研究を続けられるのは夫や家族の応援があるから。行く先々で多くの方々に支えられています」。

つくばの暮らし

夫や愛猫のいる愛知県から離れ、つくばで暮らし始めて4年目。「以前に知り合った研究者との再会やさまざまな人との交流など、研究学園都市ならではの貴重な経験も多く、研究の幅が広がります」。